

平成30年度  
府民利用施設のあり方検証結果報告

平成30年10月

京 都 府

# 目 次

1	はじめに	1
2	検証の基本的な考え方	2
3	検証の結果	4

(資料) 府民利用施設調書

# 1 はじめに

## (府民利用施設)

府民利用施設（公の施設等）は、主に府民福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設のことをいい、京都府では都市公園や公営住宅といった基盤施設をはじめ、文化教育施設、スポーツ・レクリエーション施設、福祉医療施設などを設置している。

## (これまでの取組)

府民利用施設の運営については、民間事業者等の能力や経験を活用することにより、府民サービスの向上と効果的かつ効率的な管理運営を目指すことを目的に、平成 18 年度から 45 の施設において指定管理者制度を導入しており、施設利用者の増加や管理運営費の節減など一定の成果が認められるところである。

また、「府民満足最大化プラン」（平成 21 年 3 月策定）では、府民利用施設について、「NPO・民間企業・市町村等を含めた最適な運営主体による管理や協働運営の検討」をはじめ、「府民ニーズ・公的必要性に基づく抜本的見直し」などを行うこととしていたことから、府民満足の最大化に向け資金・施設等の限られた京都府の財産を有効に活用することを目的に、当プランに基づき、平成 23 年度から指定管理者及び施設活用団体（以下「指定管理者等」という。）の選定替え等に併せ、施設のあり方について今日的な視点から検証を行ってきた。

### <検証実績>

23 年度	指定管理者等の選定替えを行う施設	37 施設
24 年度	指定管理者等の選定替えを行う施設	7 施設
	直営施設	2 施設
25 年度	指定管理者等の選定替えを行う施設	5 施設
26 年度	指定管理者等の選定替えを行う施設	13 施設
	直営施設	1 施設
27 年度	指定管理者等の選定替えを行う施設	3 施設
	直営施設	2 施設
28 年度	指定管理者等の選定替えを行う施設	16 施設
29 年度	指定管理者等の選定替えを行う施設	8 施設

## (平成 30 年度の取組)

「府民満足最大化プラン」の後継である「府民満足最大化・京都力結集プラン」（平成 26 年 7 月策定）では、府民利用施設について、「民間事業者等の有する様々なアイデアやノウハウの活用により、施設の持てる可能性を最大限に引き出し、府民サービスの質を高めることで府民満足の向上を図る」こととしており、社会経済情勢が変化する中、これまで以上に府民満足を高め、多様で質の高い、利用者により魅力のある府民サービスを提供していくため、引き続き、府民利用施設のあり方について今日的な検証を行い、施設運営の改善へと繋げていく必要がある。

このため、平成 30 年度については、以前に検証を実施した施設のうち、31 年度に普通財産の施設活用団体の選定替えを行う 4 施設について、取組状況のフォローアップを行うとともに、府民へのサービス向上の観点から直営施設 1 施設についても対象とし、合わせて 5 施設について検証を実施した。

## 2 検証の基本的な考え方

### (1) 検証の概要

今回の検証では、検証対象施設について、近年の施設の利用状況、府の財政負担の状況、施設改修の予定等の施設の現状について、後述する「公共性」、「有効性」及び「効率性」の視点から検証するとともに、府民サービス等改革検討委員会における意見も参考として、施設の課題・問題点等を洗い出し、総合的な判断により「見直すべき施設」、「改善を要する施設」及び「当面継続が妥当な施設」に区分した。

また、施設の運営形態について、「代替性」の視点から、「府の直営とするか」、「指定管理者制度又は普通財産の無償貸付（以下「指定管理者制度等」という。）による運営とするか」について検証を行った。

### (2) 検証対象施設

今回の検証については、平成 31 年度に普通財産の施設活用団体の選定替えを迎える 4 施設に加え、直営施設 1 施設を対象とした。

#### ① 普通財産無償貸付施設

京都こども文化会館  
京都府長岡京記念文化会館  
京都府中丹文化会館  
京都府丹後文化会館

#### ② 直営施設

京都府立京都学・歴彩館

### (3) 検証の視点

今回の検証においては、施設の現状について、「公共性」、「有効性」及び「効率性」の3つの視点から検証を行うとともに、運営形態に関しても「代替性」の視点から検証を行った。

各視点の具体的な内容は次に掲げるとおりである。

1 公共性	①公益性	ア 今日的な視点から、設置目的の意義が低下していないか イ 利用実態が設置目的に即したものとなっているか ウ サービス内容が設置目的に即したものとなっているか
	②必需性	ア 府民の安心・安全の確保等、府民生活を営む上での必要性が高いか イ 府の施策を推進する上での必要性が高いか ウ 法律等により設置が義務付けられているか
2 有効性	①利用度	ア 会議室やホール、競技場など、利用率の状況はどうか イ 入居施設に係る入居率の状況はどうか ウ 過去3年間の利用者数の推移はどうか エ 利用者満足の上昇に対する取組の状況はどうか
	②互換性	ア 同種・類似の施設が存在するか イ 補助金などの代替施策で対応できるものか
3 効率性	①コスト	ア 利用者1人あたりの府負担コストの状況はどうか イ 経費に占める府費負担割合の状況はどうか
	②将来負担	ア 今後5年以内に大規模改修などの予定はないか
4 代替性	直営とする施設	ア 行政以外にサービスを提供する民間事業者等が存在せず、民間参入の可能性がない施設 イ 施設運営に民間事業者等のノウハウの活用が期待できない施設 ウ 施策を推進するに当たって、府が自ら運営主体として関与しなければならない施設

### (4) 検証作業

上記(3)に掲げる検証の視点に基づき、検証対象施設に係る運営状況、利用状況のデータ(書面)による検証に加え、現地調査及び所管部局からの説明の聴取、質疑を実施した上で、府民サービス等改革検討委員会の各委員より意見を聴取した。

各施設の課題・問題点等を洗い出した上で、これらの意見を参考とし、施設のありについての検証結果をまとめた。

#### 《参考：府民サービス等改革検討委員会名簿》

氏名	職 業 等
石原 俊彦	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 ※委員長
奥野 美奈子	京都銀行 公務・地域連携部長
辻本 尚子	(株)みやこ不動産鑑定所 代表取締役
鳥居 聡	(株)スターナビゲーション・アソシエイツ 代表取締役
モナト久美子	業態開発総合研究所 所長

(五十音順、敬称略)

### **3 検証の結果**

#### **各施設の検証結果**

##### **(総括)**

今回の検証の結果、対象施設について、次に掲げる区分に分類を行った。

- ① 見直すべき施設 ( 2 施設)
- ② 改善を要する施設 ( 3 施設)
- ③ 当面継続が妥当な施設 (該当なし)

##### **(運営形態に係る検証)**

また、施設の運営形態（直営又は指定管理者制度等）に関する検証結果については、今回の検証対象の直営 1 施設は、指定管理の導入の可否等について速やかに検討を行うこととし、残る 4 施設は現行の運営形態を継続することが適当と判断した。

##### **(各施設の検証結果)**

各施設の検証結果は、以下のとおりである。

## 府民利用施設のあり方検証結果の概要

### (1) 見直しが必要な施設（2施設）

#### ●京都こども文化会館

<p>前回検証結果 (平成27年度)</p>	<p style="text-align: center;"><b>見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数・稼働率の改善には、平日利用の促進が重要であるが、営業活動や利用者ニーズの分析などが十分とは言えないため、近年、増加傾向にあるバレイエ利用について営業強化するとともに、積極的な大学等への利用促進やマーケティング分析によるニーズの掘起しが必要。</li> <li>・施設の利用実態や代替施設の存在及び施設の老朽化を踏まえ、設置目的や必要性について改めて整理を行うとともに、引き続き、今後の施設のあり方について京都市（土地所有者）と協議を進めること。</li> </ul>																
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市内の大学や高等学校に対し、サークル活動や人権学習等の課外授業としての利用促進を依頼。</li> <li>・ホームページの空き状況検索を整備。</li> <li>・学識経験者、青少年団体関係者等で構成する「京都こども文化会館あり方懇談会」を京都市と共同で設置（平成28年12月）し、今後の施設のあり方について検討。</li> </ul>																
<p>取組の成果</p>	<p>◇数値目標の達成に向けた運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用率</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 1256 1350 1424"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>56.0%</td> <td>56.0%</td> <td>56.0%</td> </tr> <tr> <td>実績値（大ホール）</td> <td>55.0%</td> <td>47.6%</td> <td>53.2%</td> </tr> <tr> <td>達成率（大ホール）</td> <td>98.2%</td> <td>85.0%</td> <td>95.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	目標値	56.0%	56.0%	56.0%	実績値（大ホール）	55.0%	47.6%	53.2%	達成率（大ホール）	98.2%	85.0%	95.0%
年度	H27	H28	H29														
目標値	56.0%	56.0%	56.0%														
実績値（大ホール）	55.0%	47.6%	53.2%														
達成率（大ホール）	98.2%	85.0%	95.0%														
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆営業活動の取組が、利用者数・利用料金収入・利用率の改善につながっていない。</li> <li>◆施設設置後35年経過しており、建物・設備の老朽化が進行。</li> </ul>																
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□利用者数・利用率の改善のためには、営業強化が重要であるが、前回検証以降、成果は見られず、今後の大幅な改善は困難。</li> <li>□施設の開設当初と比べて、京都市内に類似施設が増加しており、果たすべき役割は終えているのではないか。</li> </ul>																

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">見直し</div> <p>&lt;見直し方策&gt;</p> <p>◎施設の利用実態や代替施設の存在及び施設の老朽化を踏まえ、今後の施設のあり方について、早急に京都市との協議を進めること。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>&lt;今後の対応&gt;</p> <p>○京都こども文化会館あり方懇談会の報告書を踏まえて、今後、施設を共同で運営する京都市と、施設のあり方について具体的に検討する。</p>
-----------------------	---



●京都府立京都学・歴彩館（初検証）

<p>課題・問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ホールの利用率は約13%と低率であり、収入合計に対する利用料金収入は約1%と、経営に寄与していない。</li> <li>◆館全体を活用した利用向上の取り組みが行われていない。</li> <li>◆20万人以上の利用者があるものの、府負担コスト等の運営経費が割高である。</li> </ul>
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□設置目的の「文化の発展及び学術の振興に資する」を具現化するため、来館者数や利用率とは異なる独自の指標を設定し、指標に沿った取組が必要である。</li> <li>□「京都学」の拠点としての意義はあるものの、府民に浸透しているとは言えず、施設全体が誰をターゲットとしているのか不明瞭になっている。</li> <li>□建設コストに加え、維持管理や更新コストがかかり続けるため、収益確保に確実に取り組み、黒字運営により修繕費等を積み立てる仕組みにしておく必要がある。</li> <li>□大小ホールの利用率向上が最も重要な課題。営業部隊の編成や隣接する教養教育共同化施設との連携などを検討してはどうか。</li> <li>□機能に応じ、直営方式が最善の方法か見直す必要があり、指定管理の導入も含め検討を行うべきである。</li> </ul>
<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p style="text-align: center;"><b>見直し</b></p> <p>&lt;見直し方策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎設置目的に照らした成果指標の設定が必要。</li> <li>◎ホールの利用率向上のため、営業強化や教養教育共同化施設との連携を検討するとともに、施設運営の費用対効果の分析を行い、指定管理の導入の可否等について、速やかに検討を行うこと。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>&lt;今後の対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北山文化環境ゾーンの中での京都学・歴彩館の位置付けに合致した成果指標の設定を行うとともに、館の持つ機能に応じて指定管理の導入を含め、最適な運営手法について検討する。</li> </ul>

(2) 改善が必要な施設 (3施設)

●京都府長岡京記念文化会館

●京都府中丹文化会館

<p>前回検証結果 (平成25年度)</p>	<p><b>継 続</b></p> <p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修繕費用については、受益と負担のバランスの観点から、短期、中長期に分け、適正な負担のあり方を幅広く検討していく。</li> <li>・ 将来的な施設のあり方については、設置後25年又は30年が経過したことを踏まえ、議論を始めていく。</li> </ul> <p>(中丹のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の館長が有する企画力や経営ノウハウを引き継いでいき、今後とも、安定した経営状況が維持できるよう、後継者の計画的な育成が必要。</li> </ul>																																
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設運営の根幹に係る基礎的施設設備については、施設の設置者として府が経費負担しており、将来の改修を見定め、計画的に予算要求を実施。</li> <li>・ 施設管理者においても、短期的、突発的な修繕を見積もり、地元市からの補助金を確保。</li> </ul>																																
<p>取組の成果</p>	<p>◇数値目標の達成に向けた運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者数 (長岡京)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 1137 1348 1303"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>120,000人</td> <td>90,000人</td> <td>100,000人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>122,283人</td> <td>92,780人</td> <td>102,533人</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>101.9%</td> <td>103.1%</td> <td>102.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※H29.1～5まで改修工事に伴い休館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(中丹)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 1384 1348 1550"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>61,000人</td> <td>64,000人</td> <td>67,000人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>64,597人</td> <td>65,377人</td> <td>63,970人</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>105.9%</td> <td>102.2%</td> <td>95.5%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	目標値	120,000人	90,000人	100,000人	実績値	122,283人	92,780人	102,533人	達成率	101.9%	103.1%	102.5%	年度	H27	H28	H29	目標値	61,000人	64,000人	67,000人	実績値	64,597人	65,377人	63,970人	達成率	105.9%	102.2%	95.5%
年度	H27	H28	H29																														
目標値	120,000人	90,000人	100,000人																														
実績値	122,283人	92,780人	102,533人																														
達成率	101.9%	103.1%	102.5%																														
年度	H27	H28	H29																														
目標値	61,000人	64,000人	67,000人																														
実績値	64,597人	65,377人	63,970人																														
達成率	105.9%	102.2%	95.5%																														
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<p>◆施設設置後、長岡京記念文化会館は築29年、中丹文化会館は築34年経過しており、建物・設備の老朽化が進行。</p>																																
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□地域の文化活動の支援や啓発のための貴重な施設であるにもかかわらず、中長期的な経営の視点で施設管理が行われてこなかったため、老朽化とその財政的な対応に苦慮する現況である。</li> <li>□施設の老朽化及び類似施設との兼ね合いを考慮の上、当該施設を地元自治体に移譲するなど、施設のあり方を検討する時期に来ている。</li> </ul>																																

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p style="text-align: center;"><b>要 改 善</b></p> <p>&lt;改善方策&gt;</p> <p>◎施設の利用実態や近隣の類似施設の状況、老朽化の進行により、今後、施設改修が必要となることから、設置目的や必需性、今後の費用負担、施設移譲も含めて地元市町と検証を進めること。</p>
	<p>&lt;今後の対応&gt;</p> <p>○施設の利用実態や老朽化対策を踏まえ、今後の会館のあり方について、地元市町と検討する。</p>

●京都府丹後文化会館

<p>前回検証結果 (平成27年度)</p>	<p><b>要改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数や利用料収入の増加につながる取組を強化するとともに、経営改善委員会への経営の専門家の登用により、自主財源の確保につながる取組を強化すること。</li> <li>・施設の利用実態や代替施設の存在、老朽化対策を踏まえ、引き続き、今後のあり方について地元市町と連携した検討を行うこと。</li> </ul>																
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体による鑑賞事業の実施や、自主事業選定の際の企画委員会の活用、公的助成金の活用、丹後地域外のプレイガイド等でのチケットの販売等により、利用者数及び利用料金収入の増加。</li> <li>・経営改善委員会は、新たに民間と行政から委員を委嘱し、運営についての提言を受け、中長期運営計画の指針としてまとめる予定。</li> <li>・地元企業等からの協賛金や広告料を新たに確保。</li> </ul>																
<p>取組の成果</p>	<p>◇数値目標の達成に向けた運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 786 1350 954"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>36,000人</td> <td>37,000人</td> <td>39,000人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>35,062人</td> <td>41,846人</td> <td>40,051人</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>97.4%</td> <td>113.1%</td> <td>102.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	目標値	36,000人	37,000人	39,000人	実績値	35,062人	41,846人	40,051人	達成率	97.4%	113.1%	102.7%
年度	H27	H28	H29														
目標値	36,000人	37,000人	39,000人														
実績値	35,062人	41,846人	40,051人														
達成率	97.4%	113.1%	102.7%														
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者数は、ピーク時（昭和61年度）から約25%減少</li> <li>◆京丹後市以外の利用者割合が前回検証から約12%減少しており、特定の自治体住民の利用が中心となった施設となっている。</li> <li>◆施設設置後37年経過しており、建物・設備の老朽化が進行。</li> </ul>																
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□子育て期の若い家族が府北部に定着していくためにも、兵庫県北部との連携や地域愛や土着性の強い営業活動を地元を促すなど、本施設の将来像を再検討するべきではないか。</li> <li>□地域の文化活動の支援や啓発のための貴重な施設であるにもかかわらず、中長期的な経営の視点で施設管理が行われておらず、また、市町村合併の結果、来場者の8割以上が京丹後市民という利用実態から、府の施設として設置・運営することが適当かどうかの分析も必要であり、当該施設を地元自治体に移譲するなど、施設のあり方を検討する時期に来ている。</li> </ul>																
<p>京都府の検証結 果及び対応方向</p>	<p><b>要改善</b></p> <p>&lt;改善方策&gt;</p> <p>◎施設の設置以降、市町村合併により旧6町が1市に合併されたこと、施設の利用者が市内在住者中心になっていること、老朽化の進行により、今後、施設改修が必要となることから、設置目的や必需性、今後の費用負担、施設移譲も含めて地元市町と検証を進めること。</p> <hr/> <p>&lt;今後の対応&gt;</p> <p>○施設の利用実態や耐震化及び老朽化対策を踏まえ、今後の会館のあり方について、地元市町と検討する。</p>																